

★「知財戦略策定の流れや重要ポイントの理解」、「具体的手法を用いた知財戦略の立案法・出願国選定基準の習得」  
「他部門も巻き込んだ知財戦略の実現」などを旨、知財に関わる方皆様に贈りたい必携の1冊!

# 知財戦略の策定手順

— 他社に勝つ知財戦略をいかに立案するのか? —

●著者 アイ・ピー・ファイン株式会社 取締役、常務執行役員 兼 知財コンサルティング部長 大藪 一 氏  
※元・パナソニック株式会社

●価格 27,000円+税 ●発行 2016年2月10日 ●体裁 B5判ソフトカバー 147ページ

**【本書のポイント】**

- 近年国内メーカーの出願低下傾向の分析と考察
- 知財戦略の策定目的と方針の定め方 — 強い知財戦略を作るには? 勘所を解説。
- 勝てる知財戦略立案のためのステップ
- 後発と先発: 立場における知財戦略
- 出願是非 — 出願or非出願? 著者の判断基準 —
- 知財ネタをどう見つけるか ○各部門に知財意識を持たせるには?
- 権利化した知財の取扱 — 維持と活用及び放棄要件・タイミング —
- 特許以外の知的財産権の活用法 — 商標・意匠・実用新案・ノウハウ管理等 —
- 知っておきべき知財に関わる「契約」の留意点
- その組織と共同研究を進めるべきかの判断基準

紙面の都合上、本ご案内は簡易版です。  
書籍の詳しい目次や内容詳細は  
弊社ホームページをご覧ください!  
検索ワードは→「BC160201 情報機構」

**【目次】**

※詳細は弊社ホームページをご確認ください。

<p>●第1章 知財戦略立案の基礎知識 — 知財現状・各種パテントマップの解説・マップ作成事例 —</p> <p>1. 知的財産権を取り巻く現状 1.1 プロパテントを理解しないと 知財戦略は策定できない! 1.2 世界経済の動向</p> <p>2. 知的財産権とは 2.1 知的財産権の定義 2.2 知的財産権の種類 2.3 知的財産権の目的 2.4 知的財産権の活用</p> <p>3. 知財戦略とは? 3.1 知財戦略の定義 3.2 日本で知財戦略が弱かった原因 3.3 日本で知財戦略を強くするためには 3.4 知財戦略を立案するに当たっての留意点</p> <p>4. 他社の動向を調査・解析しパテントマップを作成 4.1 パテントマップ作成の目的 4.2 技術競争に必ず勝つために 4.3 技術開発のステップと知財戦略 4.4 パテントマップの種類と活用 4.5 マクロ分析に用いるパテントマップ 4.6 セミマクロ分析に用いるパテントマップ 4.7 ミクロ分析に用いるパテントマップ</p> <p>●第2章 具体的な手法を用いた知財戦略立案事例</p> <p>1. 知財戦略の策定目的 1.1 知財戦略の方針 1.2 開発テーマの決定</p> <p>2. 知財戦略手法「U'Method」 2.1 U'Methodの概要 2.2 U'Method 推進テーマの決定 2.3 機能鳥瞰マップの作成 2.4 攻めどころを決める 2.5 U'Methodを用いた勝てる知財戦略 2.6 可能性アイデアの多量発想</p>	<p>2.7 戦略的先行特許出願 2.8 R&amp;D テーマ推進の革新 2.9 R&amp;D テーマの抽出 2.10 中長期計画策定</p> <p>3. U'Method によって得られる特許の実力 3.1 U'Method によって得られる特許の先行特許実力 3.2 U'Method によって得られる特許の発想の先見力 3.3 U'Method によって得られる特許の発想の拡大力</p> <p>4. U'Methodまとめ 4.1 U'Method ポイントまとめ 4.2 U'Method 実働時間 4.3 U'Method 試行条件</p> <p>5. 機能キーワードと機能ツリー作成の補足説明</p> <p>●第3章 知財戦略推進のポイントと出願国選定基準</p> <p>1. 事業と知財戦略 1.1 守りの知財戦略 1.2 権利行使できる特許 1.3 攻めの知財戦略</p> <p>2. 知財戦略の中で特許以外の知的財産権の活用法 2.1 商標権の活用 2.2 意匠権の活用 2.3 実用新案権の活用 2.4 出願せずにノウハウとして活用</p> <p>3. 経営に役立つ知財戦略 3.1 当たり前の特許を取得する 3.2 特許侵害の見える化 3.3 技術者の発明認識の転換</p> <p>4. 知財戦略立案のために必要となる情報 4.1 トレンド 4.2 ニーズ情報 4.3 標準化情報 4.4 グローバル情報 4.5 業界情報、企業情報</p> <p>5. グローバルな知財戦略の立案 5.1 日本だけに頼られる特許出願の位置づけ 5.2 国際出願ルートの選定方法 5.3 グローバル出願戦略における出願国の選定</p> <p>6. 特許の出願から登録・維持・放棄のプロセスでの取り扱い 6.1 特許の出願から登録・権利維持プロセスでの経費 6.2 特許の出願から登録・維持・放棄のプロセスでの知財戦略</p>	<p>7. 企業のコンプライアンスと知的財産に関わる契約の留意点 7.1 技術者に対し、社外との情報交換での留意点 7.2 営業秘密の知識と管理 7.3 材料メーカーの共同出願契約の留意点 7.4 日本の大学と共同研究する上での留意点</p> <p>●第4章 科学的発想法「<math>\alpha</math>発想法」</p> <p>1. 発想原理 1.1 発想の原理は視点です。 1.2 発想の源泉 1.3 よりたくさんアイデアを得るためには 1.4 自分の知識・経験を膨らませる方法</p> <p>2. 有効なアイデアの出し方 2.1 数はパワーか? 2.2 思考の階層 2.3 某事業場での思考風景 2.4 理想的な発想活動の思考風景</p> <p>3. 3大基本発想法 3.1 Check List 法 3.2 Brain Storming 法 3.3 KJ 法 3.4 3大基本発想法の現状</p> <p>4. <math>\alpha</math>発想法 4.1 情報収集 4.2 リーダーが事前にメンバーにテーマ、日程を連絡 4.3 第一巡目の個人ワーク 4.4 第一巡目の集団ワーク 4.5 塊のさらなる大塊化のやり方 4.6 塊毎に作業者割り当て(2~3人/塊) 4.7 第一巡目の鳥瞰ワーク 4.8 第二巡目の個人ワーク 4.9 第二巡目の個人ワーク後にツリーにまとめ 4.10 第二巡目の集団ワーク 4.11 第二巡目の鳥瞰ワーク 4.12 <math>\alpha</math>発想法のポイントまとめ</p>
--	---	---

★書籍申込書

FAX : 03-5740-8766、または、→<http://www.johokiko.co.jp> にて

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

(書籍申し込み要領)

- 右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- 未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。  
発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- 振り込み手数料はご負担ください。
- ★ <http://www.johokiko.co.jp/> の申込みフォームからも承ります!

書籍名 HP【BC160201】知財戦略の策定手順 書籍		冊数	___ 冊	※記入の無い場合は1冊
会社名				
所属部課・役職等				
申込者氏名		TEL	FAX	
E-MAIL		上司役職・氏名		
住所〒				
備考				
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送				

ご連絡頂いた、個人情報(弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため)利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱いに関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 [policy@johokiko.co.jp](mailto:policy@johokiko.co.jp)